



## 馬耳東風

時代の変革に上手に便乗して成長した企業は数多い。時代を読み取り柔軟に順応することが発展への糸口になる。「驕れる人も久しからず」とまさにこの世の無常を示し、平家物語冒頭の「沙羅双樹の花の色、盛者必衰の理をあらわす」の句を思い出す向きは多いはずだ。どの企業も業界あげてどっぷり浸かったIT化の時代、いかに適応し、いかに生き延びるか真剣に闘いを挑んでいる。卑近な例では、コロナ禍で巣ごもり需要が増大しサービス数が増えた動画配信が競合多数の時期を迎え、一転して淘汰の時代を迎えようとしている報道も見かける。在宅時間の減少とともにあっという間の利用者の減少がサービスの終了を招き始めたのだ。利用者の要望に応えようと民放の無料動画配信も影響したといわれる。電子技術の目を見張る進歩はイノベーションそのものである。生産様式の変化はもとより生活様式に深く入り込んでいる。(一社)ペットフード協会の調査結果で犬・猫推計飼育頭数全国合計は、1,589万頭(令和4年)でほぼ横ばいで新規飼育意向は低下が続いている。コロナ禍でもペット関連産業の販売額は堅調である。在宅勤務時間の増加がペットクリニックの水準を維持し、経産省発表の動物病院指数の推移も堅調に見え、愛玩動物看護師の法制化も手伝い裾野を広げる業種のように見える。愛玩動物医療の高度化は飼い主に安心感や満足感をもたら

し、ともに暮らすペットの存在が生活の重要な位置を占める時代となった。豊かな時代のペットが心の奥深く生きる癒やしを与えてくれる。しかしながら一方で、乳牛や肥育牛あるいは養豚・養鶏界は国の「生産基盤の強化」の掛け声のもとにありながら飼育戸数を減らしている。朝日新聞一面記事が「減る酪農家」・エサ代高騰・牛乳余り・子牛の価格低迷と報じている。ウクライナ侵攻後1年で酪農家800余戸が消えたと記事は伝えている。経営体の減少は寡占化の進行を招く。産業動物界の飼育戸数の減少は分母の減少で国家課題なのだ。

一橋大学イノベーション研究センターは、産業構造の研究から移動体通信技術や半導体設計のSNS分野の伸びをあげている。アメリカ経済誌Fortuneの企業調査で1955年の上位500社のうち50年後のランキン社数はわずかに80社に減少している。右肩を下げない継続の難しさはどの産業も企業体も同じである。客観的で明示的に形式知として表現できる技術は模倣されやすく、科学的創造で重要な暗黙知の具現化したものは模倣が難しいことは言うまでもない。

ペット獣医界は、法制化された愛玩動物看護師と運命を共有する立場であり、しっかりした動物観を据えて、国民生活に密着したペットの命を守り、品格ある競争のもとに、国民生活に求められる本来の寄与の職域であることを念頭に一層の発展を祈りたい。(柏)